優れた特許を生む技術者のための実践力強化セミナー

課題系統図演習セミナー

～特許明細書の論理構築力のために～

いま、経営戦略のポートフォリオの一部に知財分析が組み込まれています。企業資源として知的財産が重視され、技術者には質の高い特許を生み出すことが求められています。しかし、R&D 第一線の技術者は研究成果を出すことに追われ、「発明をうまく文章に表現できない」、「良質な特許を生み出せない」など、特許出願は技術者個人の能力に依存し、優れた特許権を生み出すための実戦的なサポートが不足しているのが現状です。一方、特許出願の目的は権利取得です。特許明細書には、権利を取得するために審査官を納得させる論理的な筋道立てが必要です。技術者には、発明を優れた出願提案書に高める書く力、つまり、特許取得のための論理構築力が求められます。本セミナーは、技術者が論理構築力を身に付けるための演習セミナーです。優れた特許明細書を教科書として、ネオテクノロジー独自の論理的思考強化ツール「課題系統図」の演習を行います。

強い特許出願につなげるために、ぜひ『課題系統図演習セミナー』をご活用ください。

プログラム

1．特許明細書と課題系統図
- 発明を強い権利に育てる
- 課題系統図とは
- 課題系統図の作り方
- 課題系統図から得る効果
- 課題系統図を使って説明してみる
- 課題系統図でグループワーキング

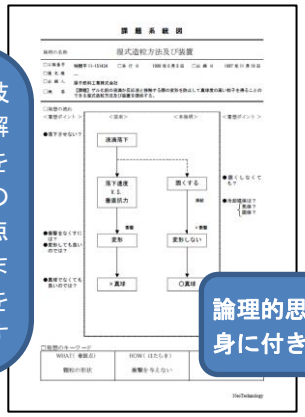
2．まず書いてみよう
- 演習問題

3．時間を計ってみよう
- 演習問題

4．登録公報から論理スキルを学ぶ
- 演習問題

課題系統図とは…

特許明細書において発明者が展開している一連の論理を、要点を押さえて簡潔にまとめた当社オリジナルのフローチャートです。



発明の詳細な説明とされる技術分野、背景技術、発明が解決しようとする課題、課題を解決するための手段、発明の効果など、発明に至る出発点から発明の説明、その効果までの文章部分を読み、要点をフローチャートにまとめます

論理的思考が身に付きます

セミナー概要

ネオテクノロジーがお客様企業に訪問いたします。
対象者：若手～中堅技術者
人　数：１０人まで
時　間：４時間
受講料：１５万円（税別）
ﾃｷｽﾄ　：『課題系統図演習ノート《初級編》』
※テキスト代は受講料に含まれます。
※関東以遠の場合は、別途交通費を申し受けます。

10 名受講の場合、テキスト代 18 万円⇒15 万円となりお得です!!
※『課題系統図演習ノート《基礎編》』30,000 円

講師紹介

中島隆

㈱ネオテクノロジー代表取締役社長、技術士(電気・電子 No.18607)。1968 年上智大学大学院修士課程電子工学修了。同年ＴＤＫ㈱入社。1971 年通産省工業技術院電子技術総合研究所出向。1977 年ＴＤＫ㈱駐米テクニカルリエゾン。1979 年同応用製品研究部研究リーダー。1984 年円満退職し、特許事務研修。1986 年中島技術事務所開設(技術士)。1991 年㈱ネオテクノロジー創設、現在に至る。著書に「技術者のための戦略的パテントの心得 55」(日刊工業新聞社)。

本セミナーのポイント

- 論理展開の優れた特許明細書を教材として用い、論理フローを課題系統図に整理して論理展開を学びます。
- 演習問題で具体的に課題系統図を作成します。

優れた実例を **多く読む**

自分で課題系統図を **書く**

これによって

論理的に考え、論理的に文章を組立て、論理的に説明する力が身に付きます。自分の力で優れた発明を生み、自分の構想で特許明細書を練り、自分の力で優れた特許明細書を書くことができるようになります。

お申込み・お問合せは裏面をご利用ください。

ネオテクノロジー NeoTechnology Inc. 技術と特許

～課題系統図を実際に使用したお客様の声～

A 氏
今まで特許情報を読む箇所が主にクレームのみだったが、クレームはあくまでも発明の構成であって、
発明者が何を課題であるとみなし、その課題をどうやって解決したのかは見えていなかったことに気付いた。

B 氏
課題の流れを課題系統図に整理することによって、論理の見直しや手段の置換えができた。
自分の発明を強化することができた。

C 氏
課題系統図を用いることによって、論理的思考を身に付けることができた。
普段の業務の中で**上司への報告や部下への説明がやり易くなった。**

お申込み／お問合せ

▥必要事項をご記入のうえ、お手数ですが弊社まで FAX でお送りください

FAX:03-3219-7066

☐ 課題系統図演習セミナーを申し込みます。
☐ 課題系統図演習セミナーについて、詳しい説明を希望します。

2014 年　　月　　日

お名前			
貴社名			
ご所属			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail	@		
支払い条件	日締	日支払	
お申込み	実施希望日がございましたらご記入下さい。 第一希望：　　年　　月　　日 第二希望：　　年　　月　　日 第三希望：　　年　　月　　日		
ご要望	セミナーで取り上げて欲しい項目やご要望がございましたらご記入下さい。		

株式会社ネオテクノロジー
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 2-3-13
TEL:03-3219-0899　FAX:03-3219-7066
http://www.neotechnology.co.jp
E-Mail:toiawase@neotechnology.co.jp